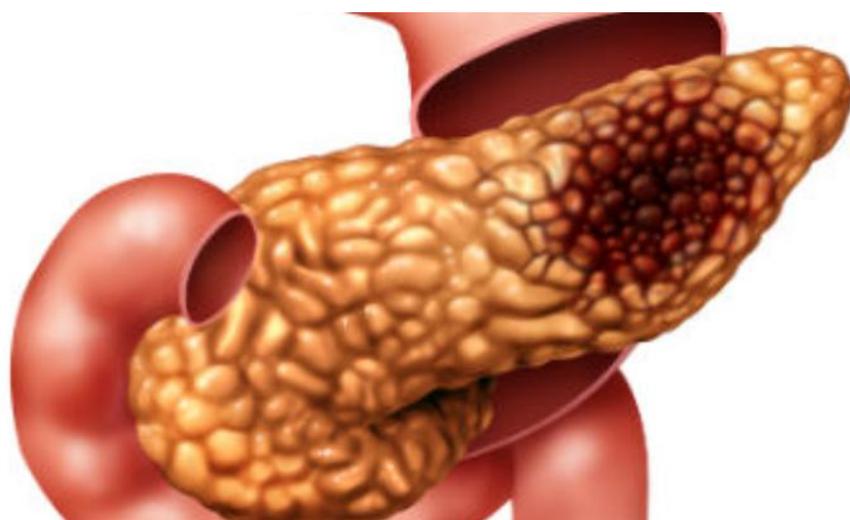


膵癌の術後補助療法、 ゲムシタビン vs FOLFIRINOX

転移性膵癌患者では、フルオロウラシル，ロイコボリン，イリノテカン，オキサリプラチンを用いる併用化学療法（FOLFIRINOX）によって，ゲムシタビン療法よりも全生存期間が延長しますが、このたび、術後補助療法にも FOLFIRINOX が有効であることが New England Journal of Medicine 誌に掲載されました。



無病生存期間中央値は、修正 FOLFIRINOX 群で 21.6 カ月、ゲムシタビン群で 12.8 カ月でありました。3 年無病生存率は、修正 FOLFIRINOX 群で 39.7%、ゲムシタビン群で 21.4%でありました。全生存期間中央値は、修正 FOLFIRINOX 群で 54.4 カ月、ゲムシタビン群で 35.0 カ月でありました。

